

1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	2	事例No	2	依頼者	岩倉市建設部環境 保全課	実施場所	岩倉市地域交流センター くすのきの家
実施対象	一般市民 12名						
実施日時	令和4年6月2日(木) 10時~11時30分						
テーマ	緑のカーテン講座(ゴーヤの育て方及び地球温暖化対策の必要性)						

●依頼内容

緑のカーテン講座の講師を紹介してほしい。住宅・事務所・公共施設において、身近なところから地球環境の保全に貢献する取り組みの一環で、「緑のカーテン講座」を開催する。講座の内容は、ゴーヤの育て方及び地球温暖化対策の必要性とし、屋内講座と屋外での緑のカーテンの設置体験を行うこととする。

●講師：堀田英夫 氏 (愛知県地球温暖化防止活動推進員)

堀田英夫氏は、愛知県地球温暖化防止活動推進員として、毎年、地元扶桑町内の小学校でストップ温暖化教室の出前講座を行っている。平成30年度には、扶桑町内の3つの小学校からのコーディネート事業の依頼により、地球温暖化問題と緑のカーテンづくりをテーマに講師を務めた実績がある。

●授業の内容

座学	地球温暖化問題と緑のカーテンづくりについて	講師から、パワーポイントを使って、地球温暖化問題とゴーヤを使った緑のカーテンづくりについて説明が行われた。地球温暖化は、人間活動によって温室効果ガスが急激に増えてしまったことが主な原因であり、氷河が溶けたり、サンゴが白化したり、巨大な台風が発生したりするなど、様々な影響が生じていることを学んだ。そして、家庭で手軽に行えるストップ温暖化のための取り組みであるゴーヤを使った緑のカーテンづくりの方法と収穫したゴーヤの食べ方について学んだ。さらに、地球温暖化対策の視点から、世界で進められているSDGs(持続可能な開発目標)について学んだ。	50分
休憩(10分)			
体験学習	ゴーヤの植え付け体験	受講者が二人1組になって、プランターにゴーヤの苗を植える体験を行った。座学で学んだゴーヤの植え方に従って、プランターに土を入れた後、穴を掘って水をたっぷり注ぎ、水が土にしみ込んだら苗を植えた。その後、講師から、緑のカーテンを上手く育てるためにゴーヤの成長に合わせて行う世話の方法や時期について改めて説明が行われた。最後に、受講者はゴーヤの苗を受け取り、授業を終了した。	30分

●授業の様子

座学では、講師から地球温暖化問題や緑のカーテンづくりについて、パワーポイントを使って丁寧でわかりやすい説明が行われ、受講者は真剣に講師の説明を聞いていた。ゴーヤの苗の植え付け体験では、講師から冗談を交えた話が飛び出したり、受講者からゴーヤ料理のアイデアの紹介が行われたりするなど、和気あいあいとした雰囲気の中で作業が行われた。

地球温暖化問題と緑のカーテンづくりについて学んだ



ゴーヤの植え付け体験を行った

